

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 3月 1日

事業所名 スタジオそら幡ヶ谷

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	0	・部屋割りを決めています。 ・床にテープを貼り、スペースを視覚化しています。 ・15分ごとに区切って場所のローテーションを行っています。	・今後も活動スペースやFBの場所等安全面に考慮しながら支援を行っていきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	3	3	・欠勤が出た際は、他スタジオよりヘルプを要請し対応をしています。	・人員の確保・育成に努めます。 ・人材育成やシフト・スケジュールの調整を行います。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	・絵カードを使用したり、床にテープを貼って動線を分かりやすくするなど、部屋の構造化を行っています。 ・視覚的な刺激が少なくなるよう、適宜道具の片付けを行っています。 ・洗面台に高さがあるため、ステップを台の代わりとして利用しています。	・集中しやすい環境を整えるよう努めていきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	0	・掃除を毎日行っています。また、道具の消毒も都度行っています。 ・雨天時は玄関が滑りやすい為、都度拭き取りの対応を行っています。 ・適宜道具の整理・片付けを行っています。	・安全面に配慮した空間作りを継続して行っていきます。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	6	0	・毎月の目標シート共有で職員のすべき業務の見える化を行っています。 ・定期的な目標設定と振り返りの場面を設けています。	・今後も継続して実施してまいります。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	6	0	・必要に合わせて改善を行っています。	・今後も意見がある場合は迅速に周知し改善を図ってまいります。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・結果の公表をホームページにて行っています。	・今後も継続して実施してまいります。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	・第三者評価は実施していません。	・必要に応じて実施の検討をしてまいります。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・本社にて研修を実施しています。 ・スタジオ内でも必要に応じて都度研修を行っています。	・今後も得意分野のある方からお話を聞く場面を作ったり、様々なテーマで研修を実施するよう努めてまいります。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・アセスメントから分析し、保護者のご要望も聞きながら支援計画を作成しています。	・保護者からのご要望や作成前の聞き取りを充実させていきます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を回るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	・スタジオそらアセスメントを用い、実施しています。	・今後も継続して実施してまいります。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	・発達支援については具体的に設定されています。	・発達支援に関しての支援内容を今後も設定してまいります。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・支援計画を元にプログラムの内容を打ち合わせを行い、実施しています。またお子さんを楽しんで頂けるように実施内容の工夫も行っていきます。	・今後も継続して支援を行ってまいります。

業務改善	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・打ち合わせをし、内容が向上するように工夫しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・特定の療育士でなく、様々な療育士が担当するようにしています。また、療育内容に関しても支援計画に沿った内容で様々なプログラムが行われるよう工夫しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	・意見交換しながら決定しており、集団目標を設定しているお子様もいらっしゃいます。	・本人に必要なプログラムと通所の状況に合わせて対応可能なプログラムとのすり合わせが課題となっています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・朝礼・昼礼で打ち合わせを行い業務に当たっています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・毎日の終礼で実施しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・毎回療育後に記録を記入しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・半年に一度行っています。必要があれば、その間も都度行っています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・児童発達支援管理責任者が参画しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	3	・一部の地域に限定されているが必要がある際には連携がとれています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2		・現在受け入れがありません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	2		・現在受け入れがありません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	・必要に応じて情報・意見交換を行っています。 ・保護者を通じて情報共有いただいています。	・保護者の方から園の様子を聞き取ったり、情報共有を図ったりしながら今後も相互理解を図っていきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	・必要に応じて親子支援プログラムの記入や・情報共有を行っています。 ・要望があった際には保護者を通じて学校へ様子を見に行き、お子さんの現状が把握できるようにしています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	・区内事業所の連絡会に参加し意見交換を行っています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	・実施していません。	・会員様のご意見も踏まえながら、必要に応じて検討していきます。
	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6	・実施していません。	・事業所連絡会にて自立支援協議会の内容を共有されています。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・毎回療育後にフィードバックを行っています。 ・フィードバック時にお子さんの様子の聞き取りも行っています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	5	・ペアレント・トレーニングについては内容が充実しておりません。	・保護者からの子育てに関する相談については面談の機会を作り家族支援を行っていきます。
		⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・契約時に説明しています。

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	・半年に一度以上は説明の機会を設けています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・面談やフィードバック時、又は必要に応じて機会を設けています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	・実施していません。	・会員様のご意見も踏まえながら、必要に応じて検討していきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・迅速に周知し、対応しています。	・共有し話し合いを行い今後も継続して取り組みます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・そら通信や毎月のおたより・カレンダーを発信しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・個人情報にあたるものについては鍵付きの書庫に入れ、職員間で周知しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・伝わりやすい手段を日々検討しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を回っている	0	6	・実施していません。	・どのように機会を設けるか検討していきます。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・保護者用の閲覧マニュアルを保護者控室に置いてあります。 ・スタッフ間でも研修を行っており、年に2回避難訓練を実施しています。	・引き続き定期的を実施し意識を高めていきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・年に2回避難訓練を実施しています。	・引き続き定期的を実施し意識を高めていきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・フェイスシートへ記入し、共有しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	・保護者への確認やフェイスシートへ記入をし、職員間での共有を実施しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・都度ヒヤリハット報告書を書き、スタッフ内で周知しており、日々改善や再発防止に努めています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・研修を実施しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	・保護者には身体拘束に関して契約時に説明しています。必要に応じて対応しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。